

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日	令和 5年 10月 20日		
②法人・団体名	特定非営利活動法人 居場所サポートクラブロベ			
③所在地	〒300-2655 茨城県つくば市島名 2298 X-STAGE 603			
④責任者氏名	森 美智子	(役職名等)	理事長	
⑤担当者氏名	宮本 裕志	(役職名等)	部長代理	

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R05-002	⑦助成金額	150万円	⑧申請カテゴリー	DS
⑨奨学活動名	自主事業の学習支援無料塾の教室を整えて貧困から脱出し自立する子供達の応援！				
⑩主な実施場所	万博教室（自主事業：茨城県つくば市島名 2298 X-STAGE）				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

市の協働事業としての無料学習塾以外の自主事業で行っている無料学習塾（万博塾）にて、特に進学への対策、進学後の授業対策ということで、中学生と高校生を指導を行っている。

現在、開催場所は当団体が運営している学童クラブや放課後ディサービスの空き時間帯（平日夜間、土日午前、午後）に開催をしている。

教室内の備品として、ロッカー、下駄箱、教室間の移動用にすのこを購入したことで、教室内の環境が整備され、荷物の管理などの改善が進み、学習する場面だけでなく、もともとの児童たちの環境も良くなり、整理整頓の意識も高まる相乗効果ができている。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	11	12	132	週間ベース：週4回 自主事業
高校生等	6	12	72	週間ベース：週4回 自主事業
大学生等				
学習支援員等	18	12	216	週間ベース：週4回 自主事業
その他	3	15	45	週間ベース：週3回 放課後デイ
合 計			465	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和5年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：自主事業の学習支援無料塾の教室を整えて貧困から脱出し自立する子供達の応援！

法人・団体名：特定非営利活動法人 居場所サポートクラブロベ
作成者 氏名：宮本 裕志

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

・自主事業を開催する場所としての環境整備を行い、利用する小学生から高校生までが使える教室環境を整える事が目的。

ロッカー、下駄箱、教室間移動用のすのこ、座布団を購入し、教室内外の環境を整備して、支援をする際の環境の質の向上ができた。

2. 実施した奨学活動の詳細

・今まで整備しきれていなかった無料塾の環境整備を行うため、下駄箱、荷物用のロッカー、教室間移動をスムーズに行うためのすのこ、室内の床の上に人工芝、傷んでいたものが多かったテーブル机を新しいものに交換して設置、また座布団（クッション）も用意することで、学習時の環境が快適なものになり、通う子どもたちにとって学習に集中できるようになった。

・参加人数は子どもが13名、ボランティアコーチが8名、子ども食堂関係者が2名。

・市との協働事業である青い羽根学習会で、週1開催の子どもたちの学業を補助する役目を持ち、自主事業として、特に進学に強い希望を持つ子供を対象にしている。その中で子ども食堂として支援くださる方もおり、昼食の提供も受けている。

・学習指導員としては、学習支援の本部スタッフとボランティアで参加していただいているコーチ（指導員）がいる。

<設置状況>



ロッカー



テーブル、人工芝



下駄箱（鍵なしに変更）、すのこ

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

- ・きちんと小分けしたロッカー、下駄箱を整備することで、子どもたちをはじめ整理整頓がしやすくなった。またテーブル、座布団等を増やすことで、空き時間の活用がしやすくなった。
- ・まだまだバックヤード等の整理すべき事案はある。今後は無駄をなくし、より環境整備に励む必要を認識し、教室環境自体も進められると考える。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

- ・組み立て式でのロッカーにしたこともあり、子どもたちと一緒に組み上げることで自分たちが作ったモノという気持ち、大事にしようとする気持ちを持つことができたことは、教育的にも良かったと思う。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）

- ・<筑波大学 前野先生 コメント>

助成支援により、教育環境をより良い形で整備することができたと考える。

また、新しい机・床材（人工芝）・座布団・ロッカー・下駄箱・すのこ（教室間の移動用）があることで、以前と比べて、学習環境だけでなく、それ以外の時間に使用する際にも居心地の良さ、整理整頓の考え方、利用する際の行動にも良い影響を与える事が出来ていると考える。

今後、モノの大切さを考える第一歩としても活用し、末永く使えるように指導していくことが必要と思われる。